

見どころ案内

ミヤコワスレ (キク科)

春咲きの野菊です。濃い紫や淡い青の花が群生して風情があります。来月にはすぐ近くのモミジの枝にモリアオガエルの卵が産み付けられます。

ウツギ (ウツギ科)

園内各所で野生化しており、白い花が咲き始め、果実もついています。幹が空洞なので空木、あるいは旧暦の4月(卯月)頃に花を咲かせるので卯木になったといわれています。

バラ (バラ科)

モダンローズ、オールドローズ、世界の野生種、広島に関わるバラなど700種を植栽しています。詳しくはローズフェスティバル 2019ガイドマップをご覧ください。

ミズレンブ (フトモモ科)

東南アジアで主に栽培されている熱帯果樹で、生で食べられています。こま状で鮮やかな赤い実がなり、味はリンゴに似ています。

デルフィニウム・キンギョソウ

(キンポウゲ科・オオバコ科)

デルフィニウム(Delphinium)の語源はギリシャ語のイルカ。和名は大飛燕草(おおひえんそう)でツバメ。いずれもつぼみの形を動物に準えたものです。キンギョソウの英名はスナップドラゴン(Snapdragon)。こちらは口を開けた龍に見立てています。

キショウブ (アヤメ科)

欧州～西アジア原産の植物で外来種です。各地の水田や湿地などに植えられて(逃げ出して)います。水辺を好み、繁殖力が強いので、環境省の要注外来生物に指定されています。



展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (5/8～6/5)
趣味のボタニカルアート展
- ◇展示温室 (5/11～5/23)
ハーブ展
- ◇展示温室 (5/18～5/21)
遅咲きクレマチス展

ブタナ (キク科)

遠目には背の高いタンポポに見えますが、1茎に花が複数つくなど、よく観察すると違いに気づくはず。和名はフランス名(Salade de porc 豚のサラダ)の直訳です。

ヤマボウシ (ミズキ科)

白く花卉に見えるのは、苞葉(ほうよう)で葉が変化したものです。白い苞葉を僧侶の頭巾に見立てて、山法師(比叡山延暦寺の僧兵)と呼ばれています。

カロリナポプラ

(ヤナギ科)

北米東部原産の落葉高木。花はヤナギと似ていますが、蜜腺がない風媒花です。春の季語「柳絮(りゅうじょ)」の柳は元々シダレヤナギのこと。今日ではポプラなど柳の仲間全般の綿毛に覆われた種子が飛ぶ様を指し、中国北京の春の風物詩です。

ログガーデン

バラが賑やかになってきました。オルレアやジギタリス、マーガレット、オガタマなど季節の草花も見ごろです。

✿毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します✿

✿毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時～は、職員による植物うんちくガイドを実施します✿